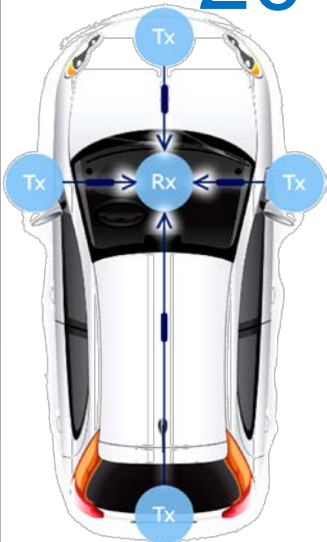


# Techpoint, Inc

2018年12月期 中間決算説明資料



2018年8月

証券コード: 6697  
東証マザーズ

Techpoint

# 目次

- I. 2018年12月期中間決算の概要
- II. 2018年12月期業績予想の概要
- III. 今後の成長戦略
- IV. 参考資料

# I. 2018年12月期 中間決算の概要

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上1米ドル=110.54円で換算された金額であります。

## 2018/12期中間決算のポイント

### 車載向けが伸びるも、在庫調整の影響により減収減益で推移

2Q累計の売上高は、13.5百万米ドル(1,494百万円)：前年同期比△11.4%。

- 動画圧縮規格H.264からH.265への移行の影響により、新製品のISP+Txの出荷個数が予想を下回った。
- 期初想定どおり、製品の平均販売価格の低下(約20%)  
一方、当社HD-TVI規格受送信用半導体の出荷台数は前年同期比で11%増加
- 車載カメラシステム向け半導体の売上は前年同期比59.7%増の1,984千米ドル(219百万円)  
⇒ 車載カメラ向けHD-TVI受信用半導体の需要増加
- 営業利益は、248千米ドル(27百万円)：前年同期比△93.3%。  
⇒ 期初計画どおり、研究開発費(テープアウト費用・新製品の設計費用等)が増加
- 当期純利益は、674千米ドル(75百万円)：前年同期比△72.1%。

## 2018/12期中間決算の概要

売上総利益率は製品構成変化などにより前年同期比5.1ポイント低下

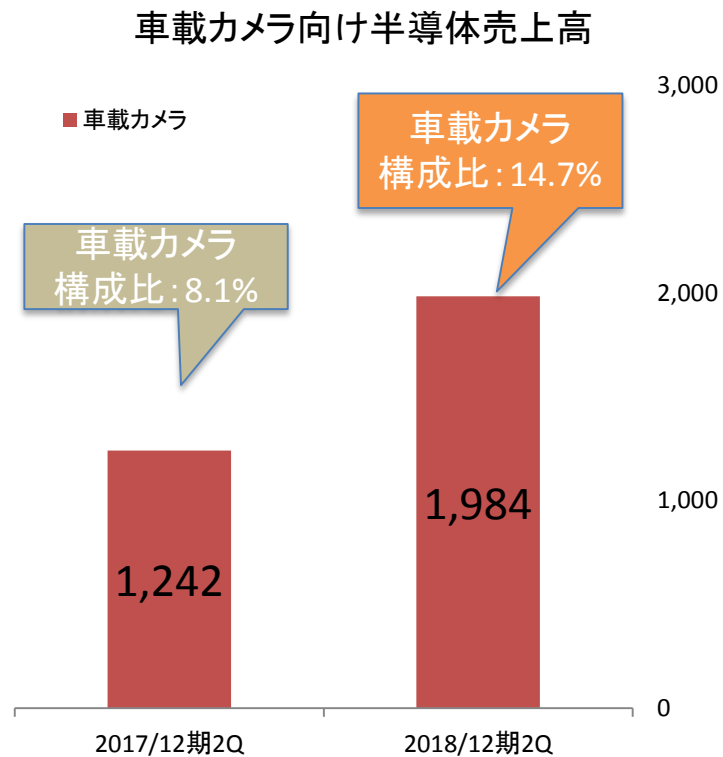
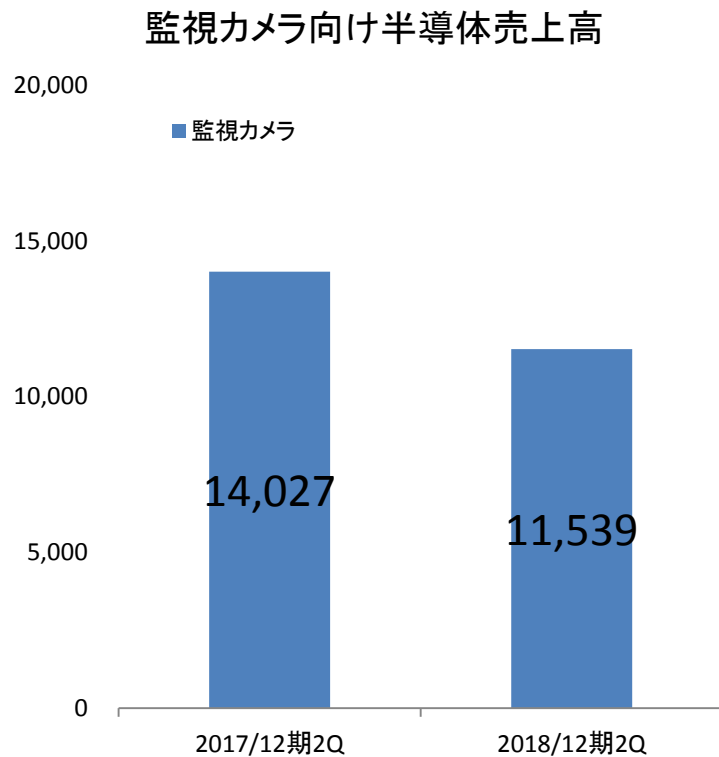
単位:千米ドル(千円)

科目	2017/12期 2Q実績(累計)		2018/12期 2Q実績(累計)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	15,269 (1,687,835)	100%	13,523 (1,494,832)	100%	△1,746 (△193,003)	△11.4%
売上総利益	8,948 (989,112)	58.6%	7,230 (799,204)	53.5%	△1,718 (△189,908)	△19.2%
営業利益	3,702 (409,219)	34.4%	248 (27,414)	1.8%	△3,454 (△381,805)	△93.3%
税引前四半期 純利益	3,692 (408,114)	24.2%	472 (52,175)	3.5%	△3,220 (△355,939)	△87.2%
四半期純利益	2,414 (266,844)	15.8%	674 (74,504)	5.0%	△1,740 (△192,340)	△72.1%

## 2018/12期 2Q累計 製品市場別売上高

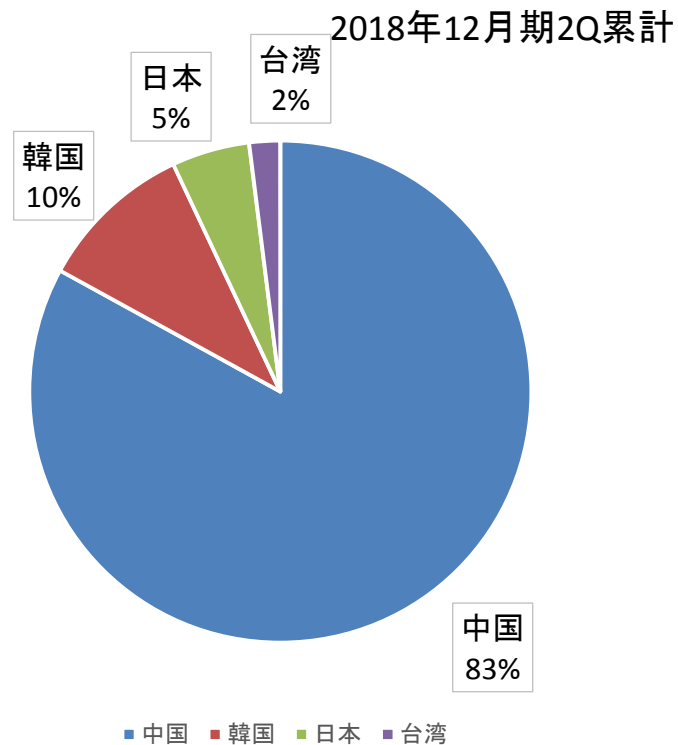
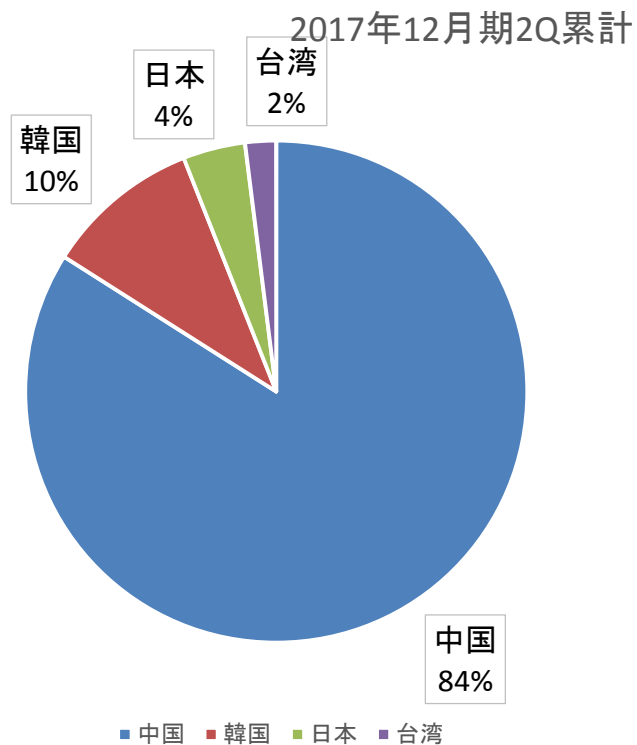
車載カメラ向け半導体が伸び、構成比は14.7%に

単位：千米ドル



## 2018/12期2Q累計 地域別売上高

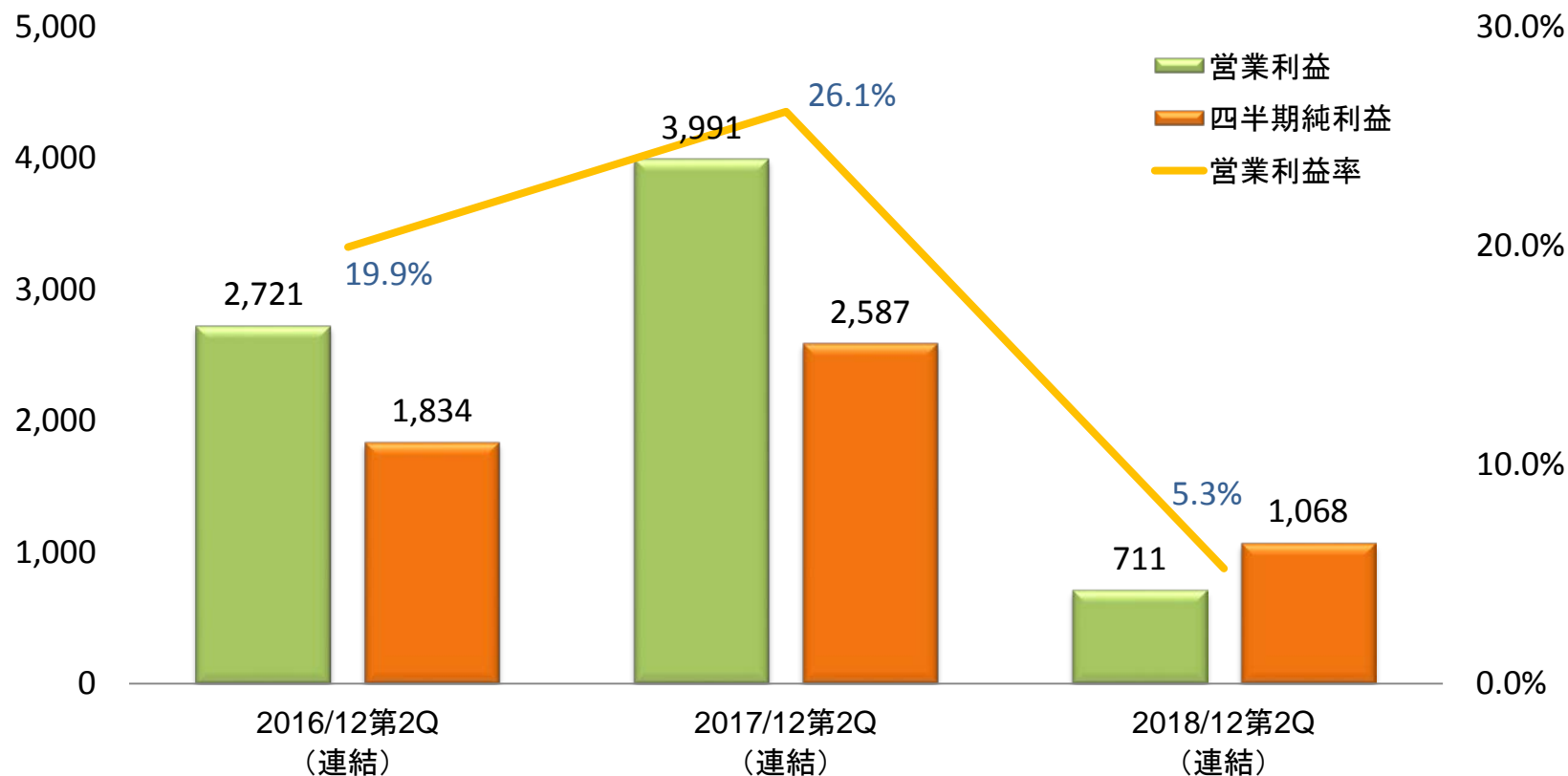
地域別の売上比率は前年同期とほぼ変わらず



# 営業利益・当期利益の推移 (NON-GAAP)

単位:千米ドル

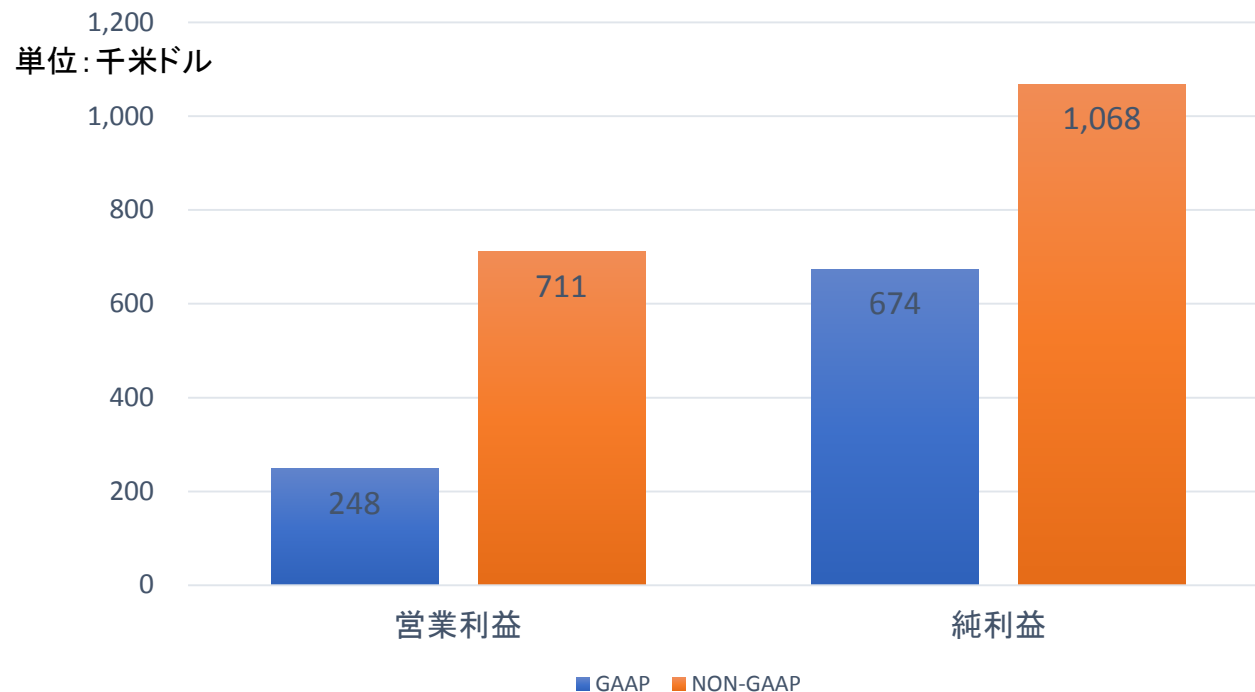
## 営業利益・四半期純利益・営業利益率(NON-GAAP)の推移





## 営業利益・純利益

### 2018年第2四半期累計 GAAP/Non-GAAP の比較



2018年12月期第2四半期累計の6か月間の株式報酬費用は463千米ドルでした。これを除いた調整後営業利益 (Non-GAAP指標) は711千米ドル、期間実効税率15%の税効果考慮後の調整後四半期純利益 (Non-GAAP指標) は1,068千米ドルとなります。

## ■ その他トピックス

- HD-TVI 4.0ビデオデコーダー「TP2827」が監視カメラ世界最大手メーカー(ハイクビジョン社)の次世代デジタルビデオレコーダーに採用決定。
- 4K対応監視カメラ向け映像信号処理用半導体「TP3808」を開発。
- 監視カメラシステム用半導体「TP2828」が、韓国最大手メーカー(アイデイス社)の新製品デジタルビデオレコーダーに採用決定。

## Ⅱ. 2018年12月期業績予想の概要

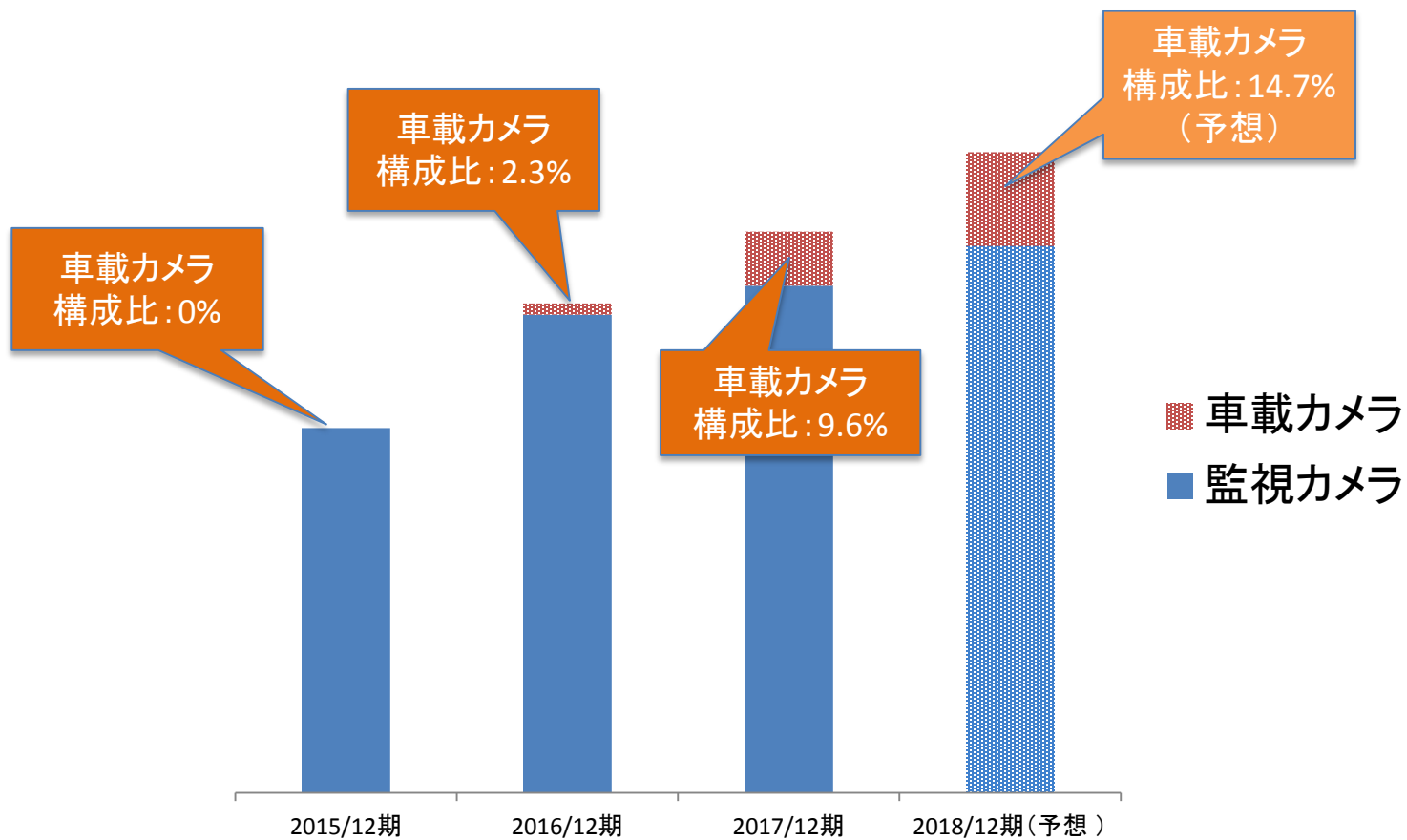
## 2018/12期業績予想のポイント

第3四半期において過去最高の四半期売上高を見込む  
一段の成長に向け研究開発費を対前期比1.5倍積み増す方針

- 2018年12月期通期の連結業績予想で、売上高は予想を下回る可能性があるが、通期の純利益は予想を上回る見込み。
- 圧縮技術の移行(H.264からH.265)による市場での在庫調整は、第3四半期に向けて終結に向かっていると当社は認識。
- 第3四半期においては、売上高が8.5百万米ドル～8.75百万米ドルと、当社最高の四半期売上高になると予想。
- 第4四半期においては、第3四半期をさらに上回る売上高になる見込み。
- 半導体製品の平均販売価格低下は、今期末までに一段落する見込み。
- 車載向け半導体製品の販売は好調で、売上高全体に占める割合は増加見込み。
- 半導体の新製品開発は、現在のところ期初計画通りに進捗。

## 車載カメラ売上高比率の推移

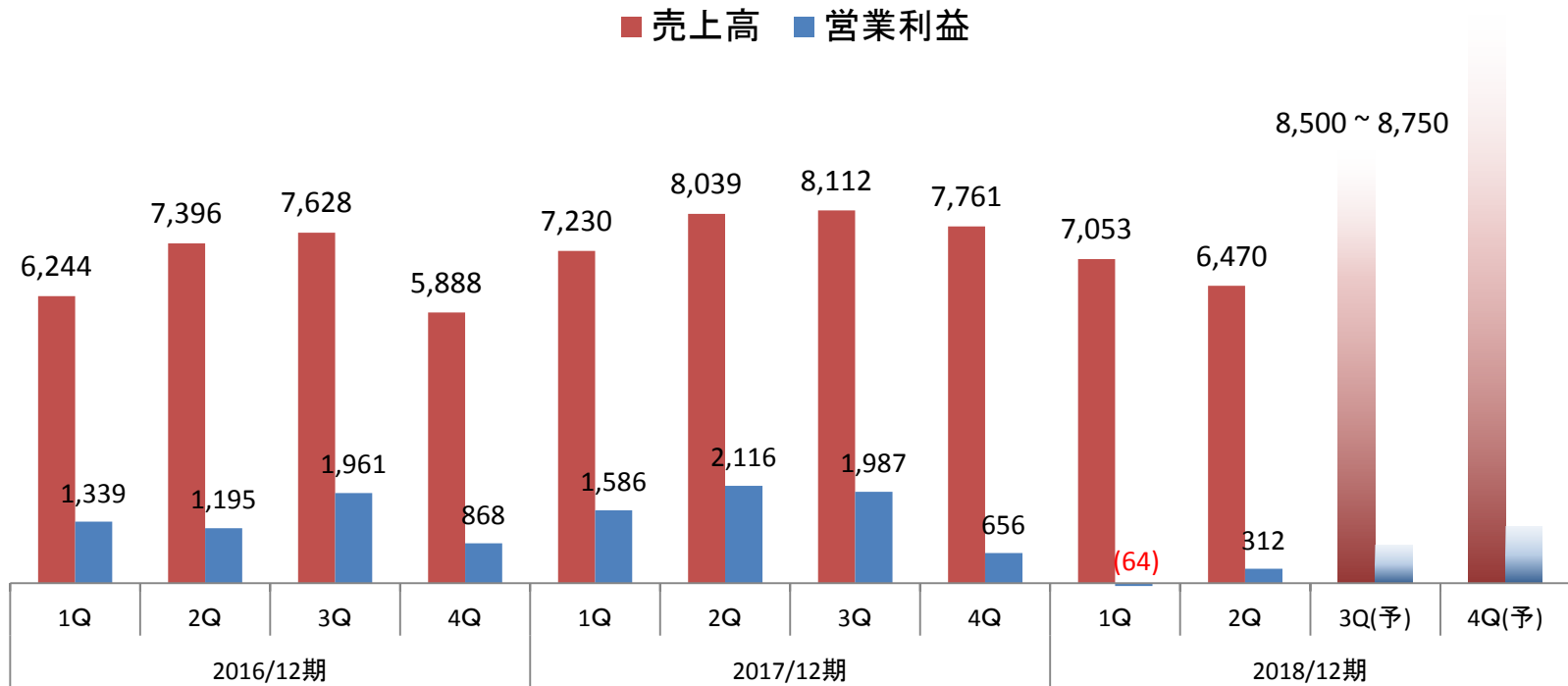
車載カメラ向け半導体の比率は、14.7%に



# 四半期業績推移

今期は、期末に向けて、売上高の拡大を予想

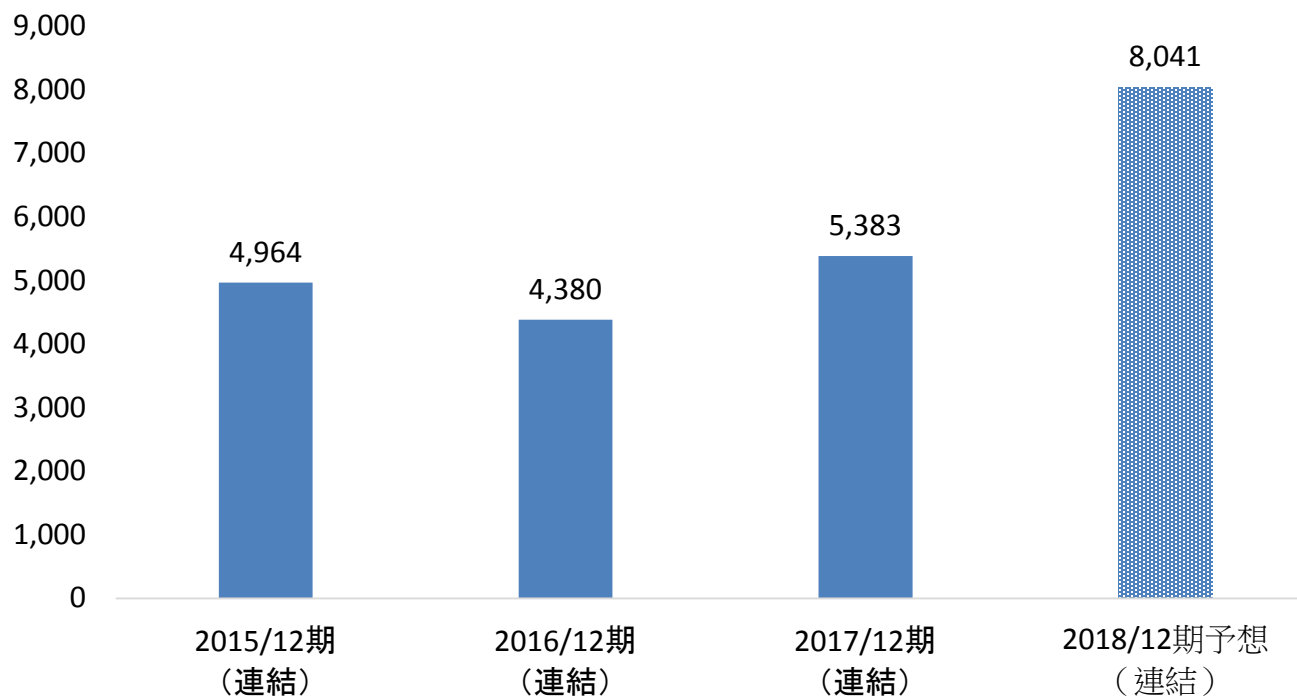
単位:千米ドル



## 研究開発費の推移

成長加速に向け、研究開発費を対前期比1.5倍に  
19/12期以降の例年以上の成長継続のため積極投資

研究開発費(千米ドル)



## 研究開発品のラインアップ

19年度以降の成長エンジンとなり得る戦略商品を開発  
他社への競争優位をさらに大きくする狙い

### 【開発案件の例】

音声対応のTxおよびRx用半導体製品

4K解像度に対応したISP + Tx

液晶ディスプレイコントローラー

CMOSイメージセンサー

その他



## Ⅲ. 今後の成長戦略

## 今後の成長イメージ

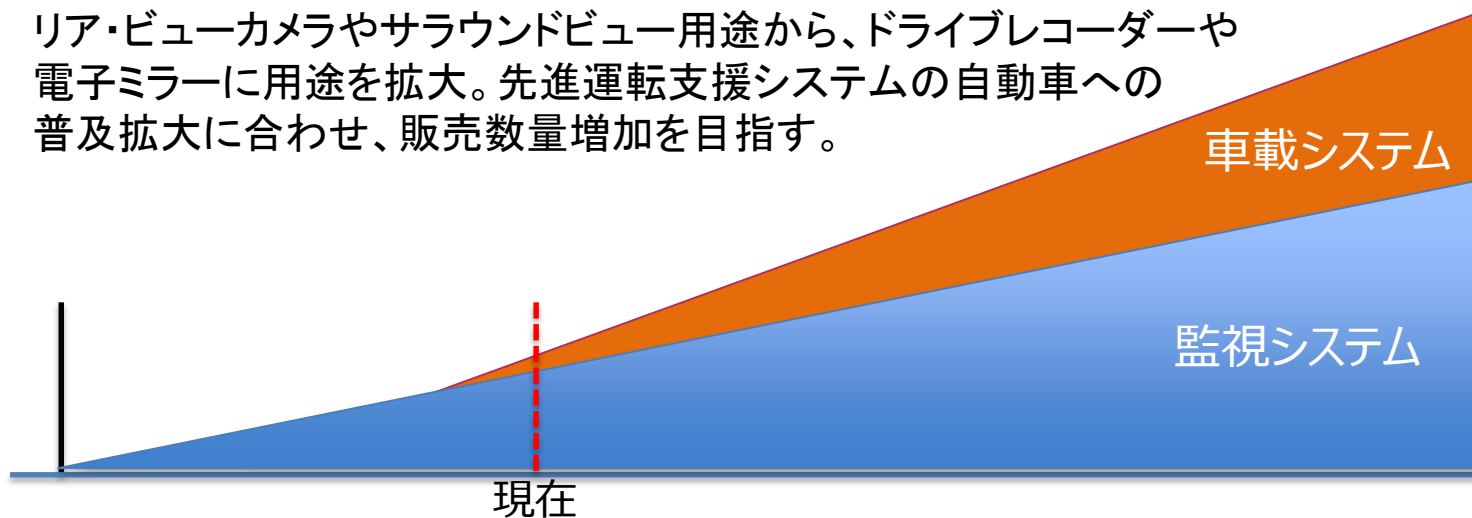
### 監視カメラシステム向け半導体

センサー + ISP + 送信Tx + 受信Rx = トータル・ソリューション

将来的には、CMOSセンサーまで含め、半導体とセンサーを一気通貫供給できる業界唯一の存在を目指す。競争力を強化し、市場占有率を高める。

### 車載カメラシステム向け半導体

リア・ビューカメラやサラウンドビュー用途から、ドライブレコーダーや電子ミラーに用途を拡大。先進運転支援システムの自動車への普及拡大に合わせ、販売数量増加を目指す。



## IV. 參考資料

# 会社概要

会社名 Techpoint, Inc. (テックポイント・インク)

代表者 小里文宏 (こざとふみひろ)

本社住所 2550 N. 1st St., Suite 550 , San Jose, Ca. 95131 U.S.A.

設立 2012年4月11日 (2012年10月 研究開発開始)

株主資本 26,365千米ドル (2018年6月末現在)



拠点 サンノゼ、サンディエゴ、東京、深圳、台北、ソウル

従業員数 69名 (2018年6月末現在)

事業内容 監視(防犯)カメラシステムと車載カメラシステム向け  
半導体の設計及び販売

監査法人 BDO International Ltd.

業績 売上高 31百万米ドル、当期純利益 3.75百万米ドル  
(2017年12月期連結)

## 会社沿革

年 月	変遷の内容
2012年4月	カリフォルニア州法に基づき米国カリフォルニア州サンノゼ市に会社設立
2012年10月	研究開発を開始
2013年9月	HD監視カメラシステム事業への参入を目的として米国コネクサント社のSDI事業を買収
2013年10月	サンディエゴ事務所開設（米国カリフォルニア州サンディエゴ市）
2013年12月	中国事務所開設（中国広東省深圳市）
2014年2月	韓国事務所開設（韓国京畿道城南市）
2014年5月	独自規格のHD解像度クラスの映像送信用、受信用半導体HD-TVIを初出荷
2015年11月	開発・技術サポート及び日本における人材確保を主な目的として、当社100%子会社である日本法人「株式会社テックポイントジャパン」を設立（東京都渋谷区）
2016年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 株式会社テックポイントジャパンの本店を移転（東京都港区）</li> <li>■ ISO9001規格及びISO14001規格合格</li> </ul>
2016年3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 車載向けAEC-Q100規格合格（該当製品名：TP2801及びTP2825）</li> <li>■ 台湾事務所開設（台湾台北市）</li> </ul>
2016年4月	顧客、技術サポートを主な目的として、中国事務所を法人化し、当社100%子会社である中国法人「科点科技（深圳）有限公司」（テックポイントチャイナ）を設立（中国広東省深圳市）
2017年7月	設立準拠法をデラウェア州法に変更
2017年9月	当社JDR（日本版預託証券）が東京証券取引所マザーズ市場に上場

## 事業概要

### 監視（防犯）カメラシステム及び車載カメラシステム向け受送信半導体の開発及び販売

監視カメラシステム  
向け半導体



車載カメラシステム  
向け半導体

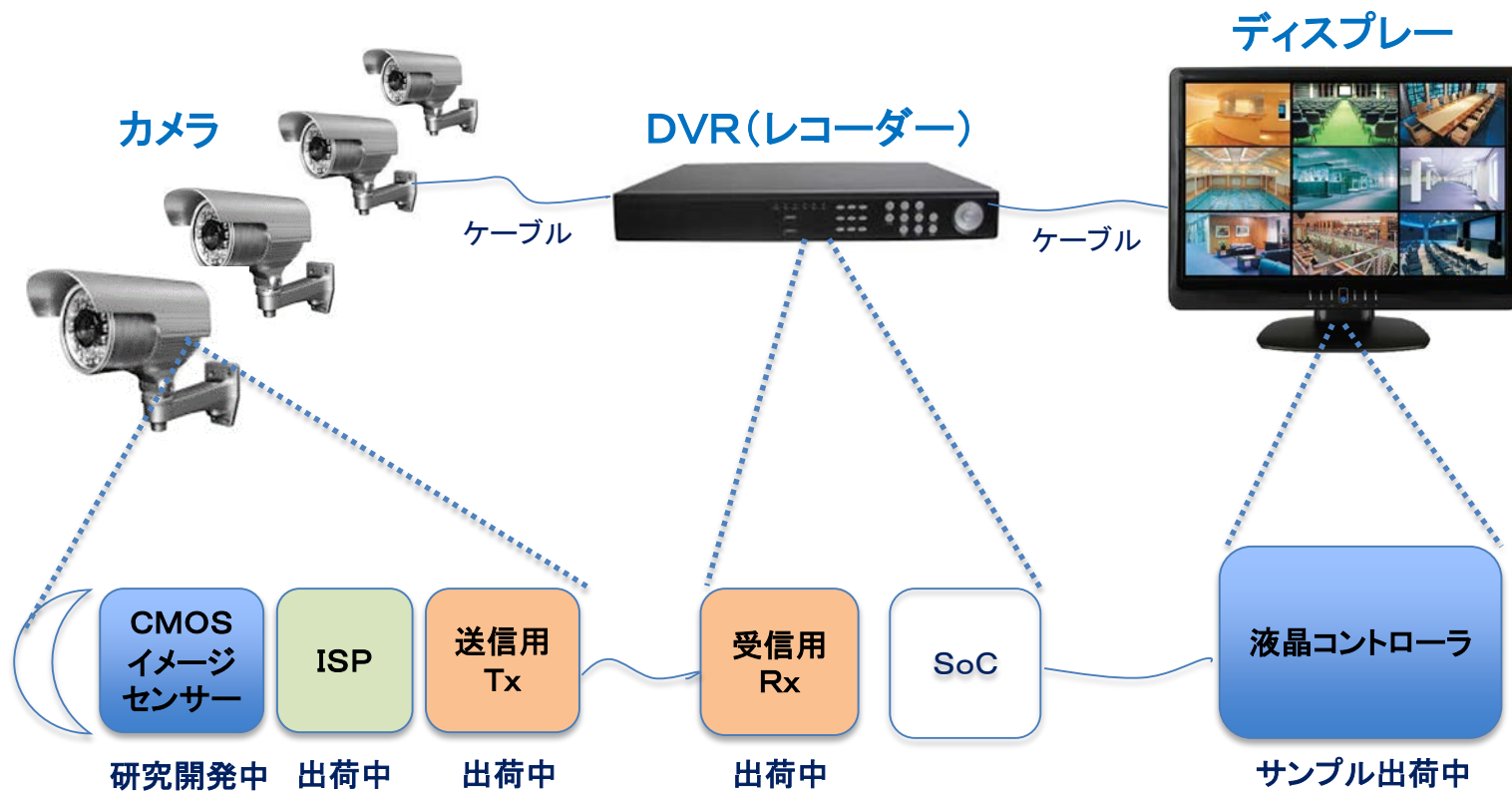
映像送信用  
半導体

映像受信用  
半導体

車載カメラ  
(バックカメラなど)

カーナビなど

# 製品（活用例）



## 免責事項

本資料は、当社グループの企業情報の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する有価証券への勧誘を構成するものではありません。また、本資料の全部又は一部を当社グループの承諾なしに公表又は第三者に伝達することはできません。

本資料のうち、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものであり、実際の結果は本資料の記載内容と大きく異なる可能性があります。

なお、本資料における記述は本資料の日付（又はそこに別途明記された日付）時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社グループの企業情報以外の情報は、当社が公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。